

愛知世界選手権も最後に国別対抗リレーが残るだけとなった8月13日。世界最高のリレー大会の向こうを張るアジア最大「クラブカップ7人リレー」が三河高原で開催された。国際色豊かなりレーイベントで優勝したのは国際パワーを発揮したときわ走林会。

第13回クラブカップ7人リレー
2005年8月13日(土)
愛知県作手村「つくで手作り村」



クラブカップの後、お祭りに繰り出すアンカとエミール。彼らのWOC&CC7参加はときわ走林会所属の八尋によるスポンサー活動で実現した。平均月収2万円とも言われる国からの実力選手参加は大変意義あるもの。

ときわ走林会・CC7 初優勝！

ときわ走林会 A チーム、クラブカップ7人リレー2005(2005年8月13日開催)で、見事優勝しました！

A チーム走順は「1 高野 - 2 アンカ - 3 佐々木 - 4 小泉 - 5 イーキス - 6 エミール - 7 坂本」。1・2走で高野・アンカの2名女子選手(制限選手)を起用する追い上げ型のチーム編成となりました。

レースは序盤2走までで42位。初めてときわ走林会メンバーとして参加するエミールは、かなり不安な様子。反して、同じく初めての参加になるイーキスは「後半のメンバーがちゃんとやれば、絶対大丈夫！」と強気の観測。

はたして、後半の男子エリート陣は見事十分挽回出来る位置となりました。3~5走ランニング区間、スプリント区間で佐々木・小泉・イーキスの3選手を投入して一気にジャンプアップ、6



走エミールから7走坂本のチェンジオーバー時点では多摩OLとほぼ並ぶ形に。

あとで「ある疑惑」が運営者側から知らされました。

7走坂本は競り合いという厳しい条件ながら、トップでビジュアルを通過。残り1.6kmの区間に向けて再び山に入っていました。競り合っていないければウイニングランOKというのを確認して、ラスポ付近で「坂本コール」。いよいよ坂本の姿が見えてチームメンバーみんなでウイニングランをすることが出来ました。

ヤッター！！ 優勝だあっ！！

だれもが信じた「優勝」の二文字。

ドキドキの優勝確定

と・こ・ろ・が。

『ゴールチェック』を終えて、見事な走りを称える坂本の胸上げを行った

「あなたたちのチームには問題がある」。

坂本はゴールテントに呼び出されて地図とともに確認、他の会員は外で待機する形になりました。チラッと見えた『ゴールチェック』用のパソコンには「P1」の表示。。。。

まさかの事態となり、坂本をはじめ会員の表情は一気に張り詰めたものに。その後、運営者側設定ミスによりペナ疑惑が晴れて、改めて完走、そして今度こそ本当に「ときわ走林会A」の優勝が確定しました！（ふうう~~、もうお、びっくりさせるのやめて~~。）

このペナ判定の時間は本当に長く感じられ、疑惑が晴れてからも、初監督であった塙(はなわ)の震えはしばらく止まりませんでした。。。。。。

今年は絶対に優勝したい

ともかくも、海外からの新メンバー投入もあって優勝を果たした我がときわ走林会。ナショナルチームメンバーが多い当会では、当初からAチームのメンバー確定が難しく、昨年はまさかのペナで期待のAチームに順位がつかなかったという経緯もあり、漠然とした不安を抱えながらも、「だからこそ今年は絶対優勝したい!」という強い思いが全体に渦巻いていました。

自分自身への準備はもちろん、メンバー全員のメンタルにも気を遣ってくれたイーキス。「WOCよりもCC7のほうが大事」「自分の国のチームと違い、ときわ走林会は本当の“チーム”のよう」と言っていたエミールとアンカ。ペナったら全員の参加費半分を払うと気合を入れていた坂本。などなど一人一人の気持ちが最高潮に達した状態での優勝でした。



走り終えた佐々木と、チェンジオーバーを待つイーキス。イーキスのこの後の快走でときわがトップに躍り出る。

そしてもちろん、ときわ走林会 B・C チームも目標通り見事レース完走。

日差しの照りつけるビジュアル区間では、給水部隊がペットボトルを片手に、今か今かと走者を待ち、なかなか現れない走者にドキドキ。やっと現れた走者にチームメイトが伴走しながら、走者の頭から水をかける。ヘトヘトになってもチームの応援を受けるとがんばれる。一致団結。そして見事、完走。

おまけに A チームは優勝。纯粹にお祭り気分でもリレーを楽しみ、結果としての目標達成、最良の日でした。

みなさんも、ときわ走林会に遊びにきませんか。ブログはこちら。どうぞお気軽に!

<http://tokiwa.air-nifty.com/tokiwa/>

【クラブカップ成績】

- 1 ときわ走林会-A 4:35:31
高野麻記子 / アンカ / 佐々木良宜
小泉成行 / イーキス / エミール / 坂本貴史
- 33 ときわ走林会-B 6:43:52
蛭田晃仁 / 山川建 / 宮城島俊太
八尋弓枝 / 上野山禎造 / 多田野清人
埴利彦
- ときわ走林会-C 7:40:03(open)
片山保子 / 加藤貴子 / 黒羽和之
井上直行 / 千葉妙 / 野口貴志
佐々木良宜

(著: 埴利彦、イーキス、加藤貴子、エミール 編著: 八尋弓枝)



クラブカップ 7 走のコースの会場付近。複雑なループを描いたコース設定になっている。中間のスペクテーターズレーンでは補給を受けられる。真夏のレースで補給は必須だ。(記入されたルー H は本誌編集者の木村が 7 走を走ったときのもの)